

# 令和5年度 第3回鈴鹿市立加佐登小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和5年10月12日(木) 13:30~14:40

2 場 所 加佐登小学校 少人数教室

## 3 あいさつ

(委員長より) 暗くなって小学生の姿を見かけることはないが、中学生が車と接触する危険があるので声掛けをしていきたい。

(学校長より) 本日は、授業参観をしていただく際に、①ICTの活用②対話的学習③児童の様子について、この3つの視点で参観していただきたい。先日運動会も無事に終わり、外部講師を呼んだりしながら学習を進めている。

4 授業参観 13:35~14:05

## 5 協議内容

### (1) 授業参観後の意見交流

○5年生の教室に、新聞が3部置かれていた。子どもが新聞に触れる機会となりよい。毎日置いてもよいのではないか。

→今日は藤井聡太八冠のニュースを知らせるために置いており毎日ではない。

○1年生が図書室で絵の載っている絵本や図鑑を手にとっていた。興味のわく本からどんどんと活用していくとよい。

○廊下の壁飾りが、綱引きの様子で作られていて、運動会の活気が感じられた。

○6年生の教室でICTを活用していた。プロジェクターを使うことと並行して、月の模型を使って視覚的に理解できるようにしてよい。

○日々の授業を見せてもらっている中で、ICTは子ども達だけでなく、ICTが苦手な先生もいるだろうが、先生たちも頑張っていると感じる。先生によって差はあるだろうが、子ども達と一緒に頑張っている活用してほしい。

○ICT活用をしていく中で、電子図書でもよいのかもしれないが、図書室の本や紙の本を手にとって読むのは効果的だと感じる。それぞれの良いところを取り入れて学習効果をあげてほしい。

○クロムブックと黒板の板書を両方活用していて先生の工夫を感じる。

○廊下の掲示物に「QRコードを読み取って」クイズに答えるコーナーがあったのもよい。

○廊下に算数の問題やなぞなぞなどが掲示してありよい。ただし、ずっと張り続けると景色になってしまうので、張りかえていくとよい。

○先生の声が小さいように感じた。

○掃除が行き届いている。階段にごみもないトイレのスリッパもきれいにそろっている。流しの下にホコリがたまっているので、一度きれいにするとよい。

○意見を言い合うとき机を丸く並べていてよい環境である。

(2) 令和5年度全国学習状況調査の結果について

(学校長より説明：別紙参照)

- 読書の全国との差はどうか。全国で1日10分以上読書をしている子が60%ということは、半分以上の子が読書をいているということに疑問がある。鈴鹿市の状況はどうか。  
→鈴鹿市全体では6割はっていない。

(3) その他

- 夏に、マチコミ配信で「津賀池で遊ばないように」というメールが送られてきた。できれば、津賀池のどういうところが危ないのか具体的に知らせるとよい。全国的に池での事故は、藻が生えているため、落ちて登ろうとしても藻で滑って上がれず事故になることが多い。また、津賀池の周りは昔からマムシがよく出る。危険ということは、こういうことだと分かるように提言していけるとよい。  
○学校だより No15 は運動会特集で児童の写真が多いため、HPにはあげていない。

6 鈴鹿市教育委員会 より

授業参観は、学校運営協議委員のみなさんに子どもの様子をみてもらえてよい。第1回の学校運営協議会で学校長が「こんな学校にしていきたい」と伝えた。そのような学校になっているか、本日、3つのポイントから参観してもらい、たくさんの意見をいただくことができた。これを職員にも伝えてほしい。

ICT活用は、低学年ではローマ字入力も難しく導入当時は写真を撮るぐらいかと思っていたが、2年の生活科で、自分の作ったおもちゃや材料を入力して、分からない子には教え合い・学び合いも行われていたり、作成したカードを前に映し出したりしており低学年でも使いこなしていると感じた。

学調の読書の全国との差の開きの傾向は加佐登だけではない。「本って何が楽しいの？」ということから始めて、読書の楽しさを伝えていくとよい。長い目で見ていく必要がある。

また、副委員長から、地域の危険なところをどうやって知らせていくかというお話があった。身の回りの危険から自分の身は自分で守っていかなくてはいけないので、子ども達が自分で考えるようになってほしい。まずは学校から発信し、学校・家庭・地域で取り組んでほしい。